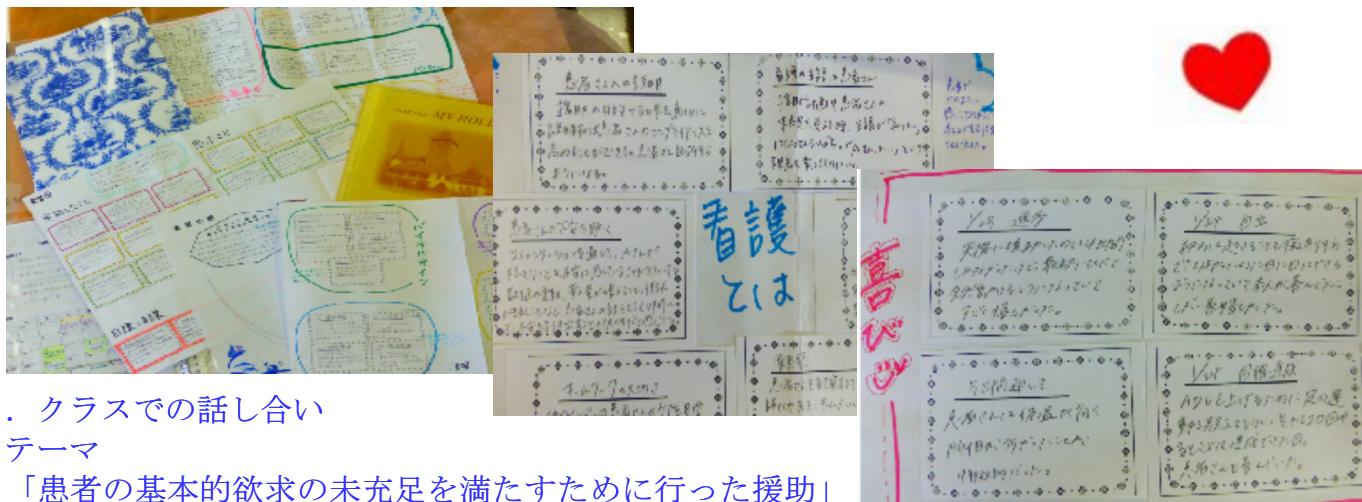


1年生 日常生活を整える援助実習③を終えて

平成31年1月18日～1月25日の約1週間、一人の患者さんを受け持たせていただき日常生活を整える実習をいたしました。実習を終え、学びを個人、グループ、クラスで共有しました。患者の日常生活を整える意味を考え、「看護とは」何なのか？をまとめました。

1. 個人のラベルワーク

実習中の気づきや学びをまとめる。



2. クラスでの話し合い テーマ

「患者の基本的欲求の未充足を満たすために行った援助」

クラスメートの発表を受け、活発に意見交換をし、沢山の学びを得ました。一部をご紹介します。

未充足を知るための情報収集

Q. それぞれ、患者とのコミュニケーションで工夫したことはありますか。

A. 両耳が難聴の患者さんに対して。耳元でゆっくりと大きな声で話し、答えやすいクローズドクエスチョンを用いて質問をした。

A 患者さんはあまり言語的コミュニケーションがとれない人。ベッドサイドにある写真を見て、元気だった頃の患者さんについて理解したいと思って関わった。

未充足を満たすための援助の工夫

Q. 未充足部分を整えるためにどのような工夫をしましたか？

A 睡眠の援助 患者さんの興味のあることについて自分も調べて話題にしたところ、昼夜逆転が改善された。

A 食事の援助 食事を自立して食べられるよう、一口で食べやすいようにした。

視力はほとんどない患者さんだったが、目の前に食器があるのは分かっていた。自分で持てるような位置の工夫やメニューの説明をした。



- ・ 患者に必要な援助は何なのか？未充足部分は何なのか？アセスメントが大切。患者を知るためにも、情報収集が大切。
- ・ コミュニケーションも工夫して行うことが大切。（言語的・非言語的）
- ・ 今後の課題は話を聞く態度と、入院前の背景や退院後の生活も考える。
- ・ 根拠を持った意見を言うためには知識が必要だから沢山の知識を取り入れる。

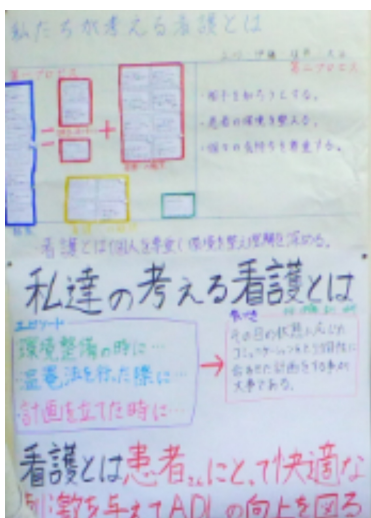
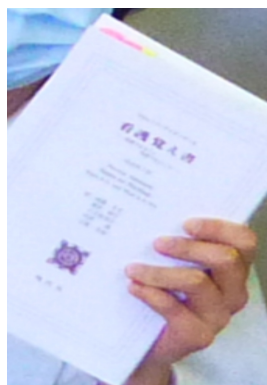
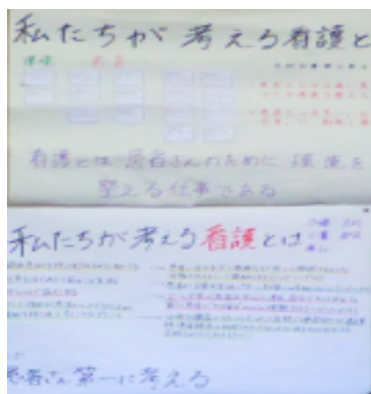
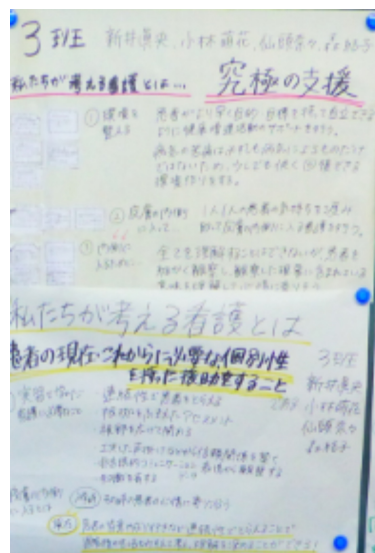
3. 私たちが考える看護とは

実習を終えて「私たちが考える看護とは」を意見交換、発表しました。



「看護覚え書き」
に書いてある看護の意味が理解できるように
なってる！！

看護とは、患者の現在・
これからに必要な個性
をもった援助をすること。



看護とは、日常生活
を整えて、患者の生
命力の消耗を最小に
し、回復過程を支援
すること

看護とは、患者にとっ
て快適な刺激を与え
てADLの向上を図る
こと



「看護とは」
を探究する旅は
まだまだ続き
ます。